

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

<b>タイトル</b>	自立した生活を続けるための介護予防・健康づくり支援
<b>現状と課題</b>	
本市の高齢化率は2020年9月末現在で37.5%だが、2025年にはその数値が39.0%と推計される等、高齢者のさらなる増加が見込まれている。伊達市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によると、介護や介助が必要になった原因に高齢による衰弱や運動器の機能低下が影響していた。また、物忘れが多いと感じる人が41.3%、過去1年間に転倒した人は35.8%、転倒に不安を感じる人が41.3%、生きがいを持たずに生活している人が22.4%おり、フレイル予防と認知症予防の取り組み、生きがい作りが重要となる。また、元気な高齢者の介護予防だけでなく介護認定者等の受け皿となるように、より効果的な介護予防を支援できる体制づくりを推進する必要がある。	
<b>第8期における具体的な取組</b>	
○地域ケア会議の実施（充実） ○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施	
<b>目標（事業内容、指標等）</b>	
○地域ケア会議の実施（充実） 多職種と協働し高齢者の個別課題を解決するとともに、地域の支援者の自立を促す支援力を高める。また、個別ケースの積み重ねにより地域に共通した課題を明確にし、解決に必要な資源開発や地域づくりにつなげる。 ○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施 ・地区介護予防教室開催 開催数 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回 ・いきいき百歳体操出前講座開催 開催数 令和3年度：8回 令和4年度：9回 令和5年度：10回 ・介護予防グループ数及び延べ参加者 グループ数 令和3年度：23か所 令和4年度：26か所 令和5年度：30か所 延べ参加者数 令和3年度：11,700人 令和4年度：11,800人 令和5年度：11,900人	
<b>目標の評価方法</b>	
● 時点 □中間見直しあり ■実績評価のみ ● 評価の方法 ○地域ケア会議の実施（充実） ・個別ケースの検討結果や会議参加者へのアンケート結果などにより年間の活動を評価する。 ○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施 ・地区介護予防教室実施回数を計上 ・いきいき百歳体操の普及のための出前講座開催数を計上 ・介護予防グループ数及び延べ参加者数を計上	

## 取組と目標に対する自己評価シート

<b>年度</b>	令和3(2021)年度
-----------	-------------

### 前期（中間見直し）

<b>実施内容</b>
<b>自己評価結果</b>
<b>課題と対応策</b>

### 後期（実績評価）

<b>実施内容</b>
<p>○地域ケア会議の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援型地域ケア会議の開催：4回</li> </ul> <p>○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区介護予防教室 開催数：2回（2地区）</li> <li>・ いきいき百歳体操の普及 出前講座開催数：1回</li> <li>・ 介護予防グループ活動支援 既存グループとの意見交換会開催や個別相談対応。 介護予防グループ数：19 延べ参加者数：5,494人</li> </ul>
<b>自己評価結果【○】</b>
<p>○地域ケア会議の充実</p> <p>感染予防対策のため Web 会議での実施体制を整えた。ケア会議で出された課題や意見を地域での共通課題として認識を深めることができた。</p> <p>○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施</p> <p>介護予防教室について新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が少なくなったが、参加者同士の交流、自分の運動機能の把握、継続的に運動に取り組むきっかけとなった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防グループ活動の休止期間があり延べ参加人数は減少したが、休止中のフレイル予防に関する情報提供、感染予防対策の周知等活動再開に向けた支援を行った。</p>
<b>課題と対応策</b>
<p>○地域ケア会議の充実</p> <p>ケア会議で個人の課題のみでなく、地域に共通した課題を明らかにするために会議参加者との共通認識や、積み重ねた事例の整理・分析が必要。ケア会議で出された課題や意見について多職種勉強会、在宅医療・介護連携推進会議など他事業での取り組みにつなげていく。</p> <p>○介護予防普及啓発・地区介護予防教室事業及び介護予防活動支援事業の実施</p> <p>自主グループの立ち上げ、活動継続の両面において組織運営する担い手確保、育成が課題となっている。教室実施地区に事前に担い手募集を働きかける、ボランティア養成講座の開催等により担い手確保に取り組んでいく。</p>